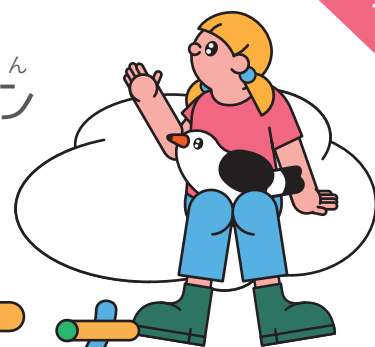


2022-2026年度

にしおしたぶんかぎょうせいすいしんぷらん
西尾市多文化共生推進プラン



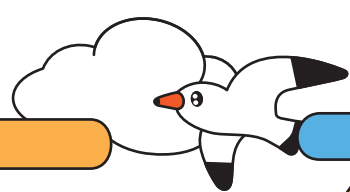
た よう せい
多様性を

ゆた
豊かさ

みんなで創る

にしおの

み らい
未来



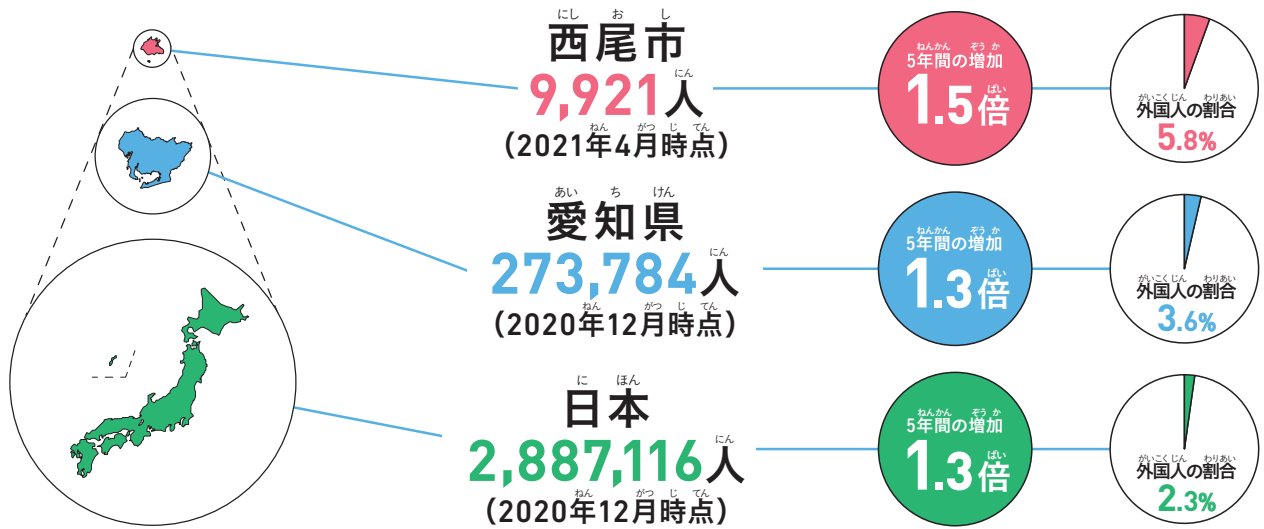
にほんごるび
日本語 (ルビあり)

みらい
未来を
のぞいてみよう!



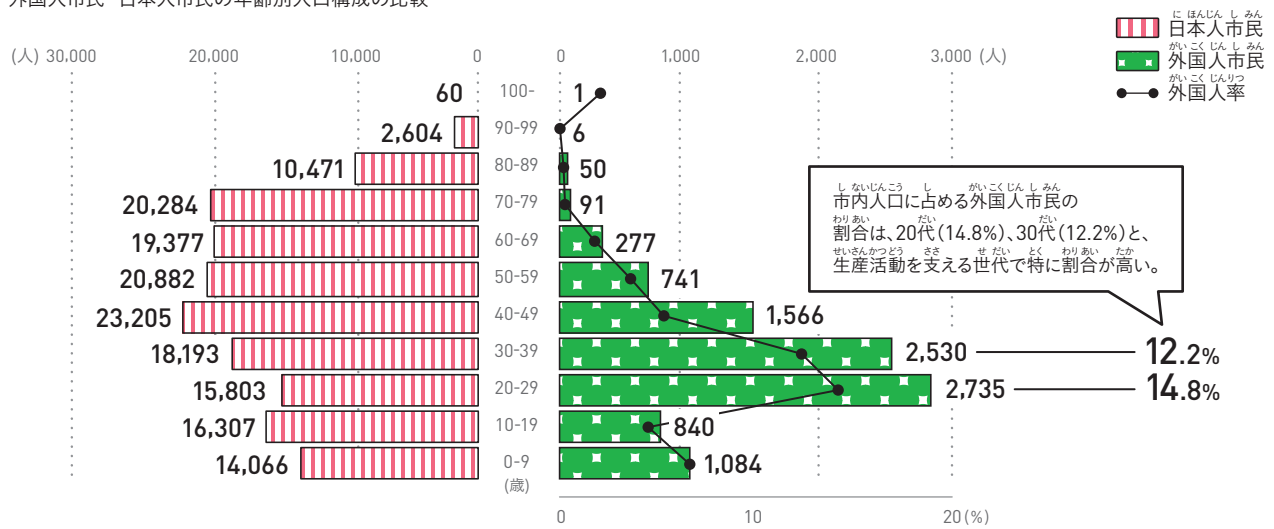
西尾市の外国人市民の動向

外国人住民の割合は全国、愛知県と比べても高く、5年間の増加割合も高い。

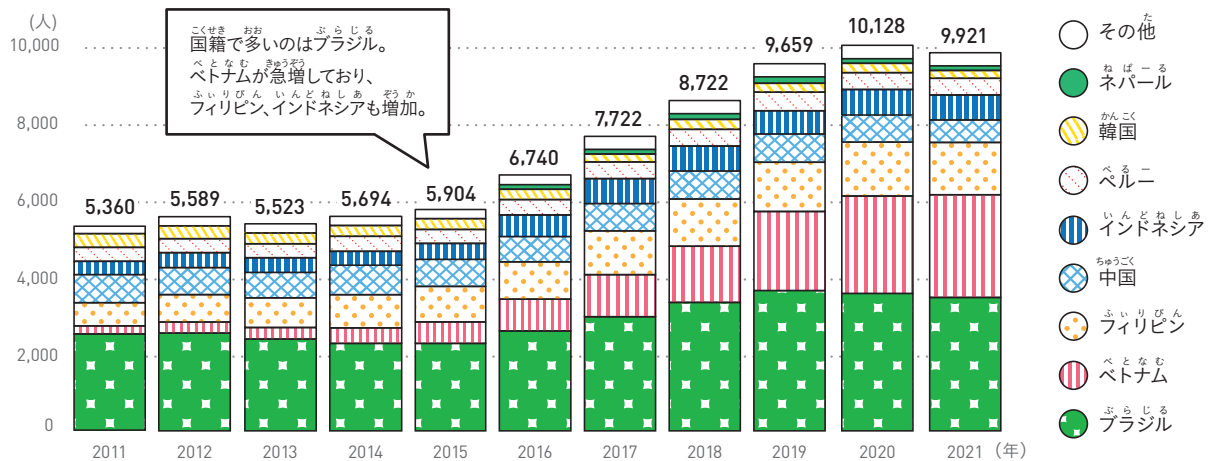


外国人市民は20代、30代の働く世代が中心

外国人市民・日本人市民の年齢別人口構成の比較



外国人市民の推移 (国籍別)



多文化共生とは

国籍や民俗などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。(総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書」より)

基本理念

多様性を豊かさに みんなで作るにしておの未来

多様な価値観や文化の違いを豊かさとして活かし、誰もが互いに認め合い・尊重し合う多様性と包摂性のある社会の実現をめざします。外国人市民も日本人市民も地域社会を構成する一員として、誰もが、持っている意欲・個性・能力を発揮することで、ともに西尾の未来を創っていきます。

基本指針と施策項目

重点プロジェクト

01 誰もが活躍できる
市民活躍

●多文化共生キーパーソンの発掘及び育成

02 子どもの学び・育ちを応援する
子育て支援、教育

●外国にルーツを持つ子どもの就学支援
●小中学校児童生徒への日本語初期指導
●教職員の指導ノウハウの習得、教材の活用・指導法の研究

03 災害や病気等から命を守る
防災、医療・福祉、感染症流行等の非常時対応

●防災啓発、災害時支援等を協働する外国人市民の発掘及び育成

04 取り残されず情報を得ることができる
多言語・やさしい日本語、日本語教育、情報伝達の体制

●外国人相談窓口の充実
●情報の動画化の促進
●外国人の日本語学習環境の充実

05 誰もが多様性を認め合う
意識啓発、交流

●外国人市民の活躍等の見える化
●多文化共生を推進するイベントや講座の開催
●企業等と連携した多文化共生への理解、地域との交流促進

01

だれ かつ やく 誰もが活躍できる

- 多文化共生等の活動で活躍する市民が増える
- 町内会に参加する外国人市民が増える



し さく ない よう し みん かつ やく 施策内容 | 市民活躍

じゅうてん ぶろ じょく と 重点プロジェクト

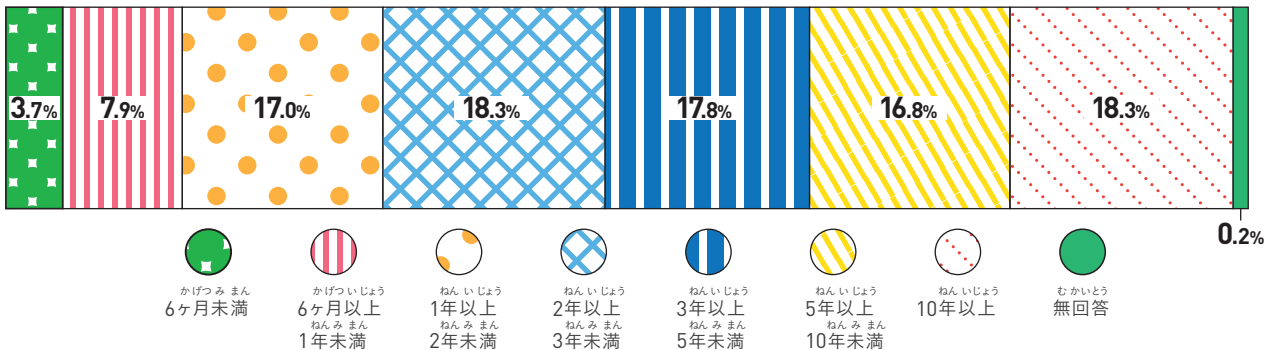
● 多文化共生キーパーソンの発掘及び育成

多文化共生キーパーソン（多様化する言葉の壁や文化的な違いなどをつなぐ架け橋となる存在）を発掘し登録することで、外国人が主体となる公的な場所への参加や社会貢献の仕組みづくりを行います。また、その登録者に対し、支援内容等でのグループ活動を支援し、その育成に取り組みます（例：言語通訳、母語教育、料理教室、文化紹介、多文化防災リーダーなど）。

がいこく じん し みん に し お し きょじゅうねんすう 外国人市民の西尾市の居住年数

ねん い じょう す がいこく じん し みん やくはんすう 3年以上住む外国人市民が約半数

西尾市又は日本に長く住む外国人市民が増え、日本での生活を理解して周りの人の手助けをしたいと思う外国人市民がいます。活動したいと思う人・活動できる人を具体的な活動に結び付けていく仕組みが求められています。



02

こ まな そだ おう えん 子どもの学び・育ちを応援する

- **安心して子育てができる環境をつくる**
あんしん こそだ かんきょう
- **外国にルーツを持つ子どもへの日本語初期指導を充実する**
がいこく にほんご しょきしどう じゅうじつ



し さく ない よう こ そだ し えん きょう いく 施策内容 | 子育て支援、教育

じゅうてん ぶる じょく と 重点プロジェクト

● 外国にルーツを持つ子どもの就学支援 (多文化ルームKIBOU)

ふじゅうえん 不就学、過年齢、小・中学生、5歳児を対象としたプレスクール、母語教室等、多様なクラスで、外国にルーツを持つ子どもの学習や就学を支援します。

● 小中学校児童生徒への日本語初期指導 (日本語初期指導教室カラフル)

らいにち 来日したばかりの小中学校児童生徒を対象に、学校生活に必要な基本的生活習慣、日本語指導や教科学習の導入等を行います。

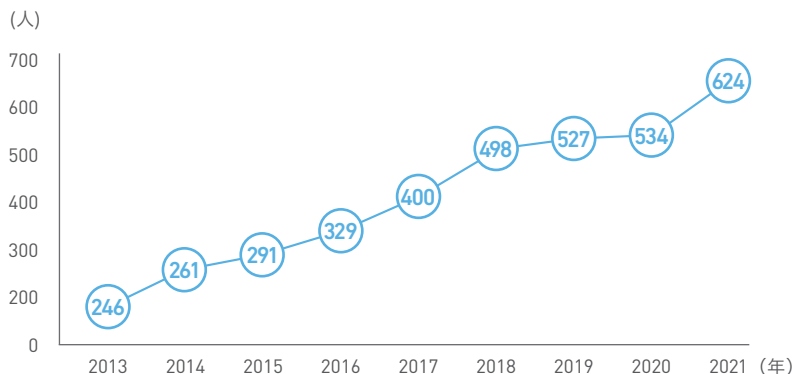
● 教職員の指導ノウハウの習得・教材の活用・指導法の研究

がいこくじん 外国人児童生徒の指導・対応方法を検討する評価ツール (DLA) の活用の維持向上や、日本語の習得を通して学校での学習活動に参加するための力を育成するJSLカリキュラムなど、教材の活用や指導法を研究し、その実践に取り組みます。

にほんご しどう ひつよう じどうせい と すう しょうちゅうがっこう すいい 日本語指導が必要な児童生徒数 (小中学校) の推移

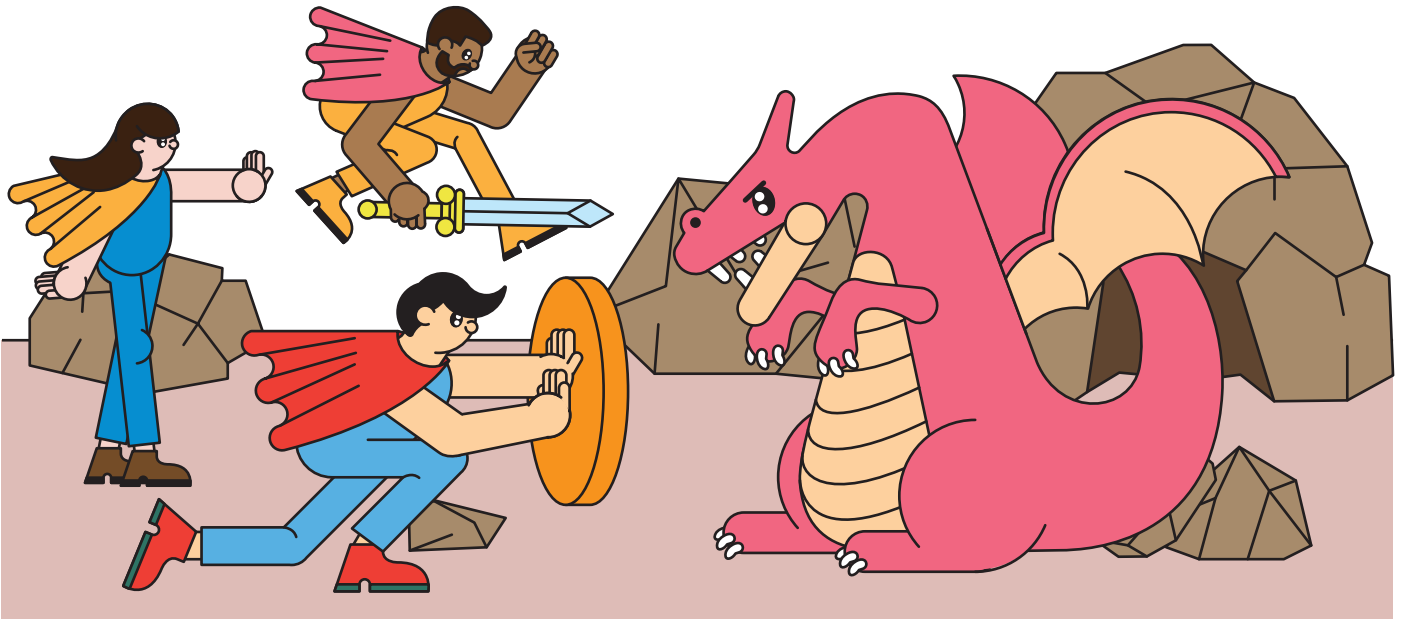
にほんご しどう ひつよう 日本語指導が必要な 児童生徒が急増

にほんご しどう ひつよう しょうちゅうがっこう 日本語指導が必要な児童生徒数が急増し、国籍も多様化してきています。日本語や日本の生活に慣れるための支援をはじめ、多様な背景を持つ児童生徒の状況に応じた教育が必要です。



災害や病気等から命を守る

- 防災に取り組む外国人市民が増える
- 障害や病気など健康に対して不安を感じる外国人市民が減る



施策内容 | 防災、医療・福祉、感染症流行等の非常時対応

重点プロジェクト

● 防災啓発、災害時支援等を協働する外国人市民の発掘及び育成

防災等の知識や技術を習得し、平時では同郷の外国人市民を中心に防災啓発を実施し、災害時には支援者となる人材（多文化防災リーダー）を発掘及び育成します。

モデル地区等における防災訓練、自主防災活動への外国人市民の参加を促進します。

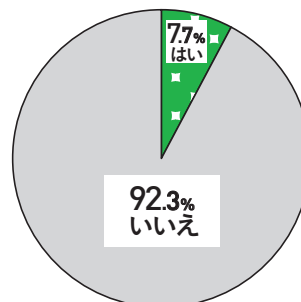
多文化防災リーダーと協働で、災害時の多言語での情報発信、避難所巡回、外国人被災者等からの相談の対応等を行います。

地域の防災訓練への参加

外国人市民の地域の防災訓練への参加率が低い

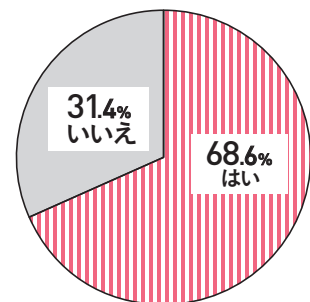
外国人市民における防災への取組を進めることが必要です。災害に対する危機意識は国籍によって様々なので、母国及び日本の災害の知識を持つ同郷の人からの啓発が効果的です。

災害の準備として地域の防災訓練に参加している



外国人市民

地域の防災訓練に参加したことがある



日本人市民

04

と のこ 取り残されず じょう ほう え 情報を得ることができる

- がいこく じん し じん ひつよう じょうほう え
外国人市民が必要な情報を得ることができる
- にほん ご がくしゅう かんきょう ととの
日本語学習の環境が整う



し さく ないよう た げん ご にほんご にほんご きょういく じょうほう でん たつ たいせい 施策内容 | 多言語・やさしい日本語、日本語教育、情報伝達の体制

じゅうてんぶろじえくと 重点プロジェクト

● がいこく じん そうだんまどぐち じゅうじつ 外国人相談窓口の充実

ベトナム語、ポルトガル語の相談員、多言語テレビ電話通訳（13言語）及び自動翻訳機等を活用した多言語での外国人相談窓口、インターネット、SNS等を活用した多言語での情報発信を行います。

● じょうほう どうが か そくしん 情報の動画化の促進

文章による案内の理解が困難な外国人に対して、外国人向け動画（生活オリエンテーション等）のプラットフォームとしてYouTubeチャンネルを開設し、SNS等と連動した動画の効果的な活用等を図っていきます。

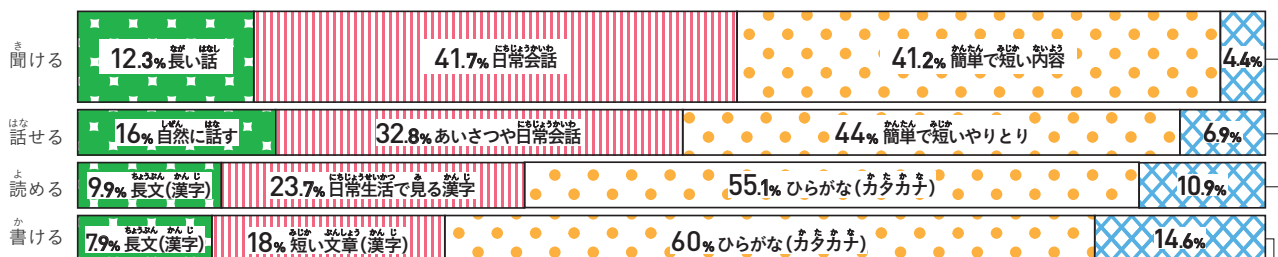
● がいこく じん にほんご がくしゅうかんきょう じゅうじつ 外国人の日本語学習環境の充実

地域の日本語教室の開催の他、日本語能力に関する資格取得の支援等を行い、外国人市民の学習意欲を最大限支援します。

にしおし がいこく じん し じん にほんご のうりよく 西尾市の外国人市民の日本語能力

よ き ほう にほんご りかい 「読む」より「聞く」の方が日本語が理解できる

日本語を読むことより、聞く方が理解できることから、動画等を活用した情報周知が効果的であると考えられます。



だれ た よう せい みた あ
誰もが多様性を認め合う

- 多文化共生に対する意識を持つ日本人市民が増える
- 互いの文化を理解し合う市民が増える



し さく ない よう い しき けい はつ こう りゅう
施策内容 | 意識啓発、交流

じゅうてんぶろじえくと
重点プロジェクト

がいこくじん し じん かつ やく と う み える か
● 外国人市民の活躍等の見える化

外国人市民の活躍状況をより多くの市民が知ることができるように、就労、町内会活動、多文化共生キーパーソン活動などにおける活躍の情報を収集、発信を行います。

た ぶん か きょうせい すい じん い べん と こう ざ かい さい
● 多文化共生を推進するイベントや講座の開催

多文化共生に関するイベントや講座を開催し、多文化共生にふれる機会を創出します。また、外国人市民が主催する母国の文化をテーマにしたイベントや講座の開催を支援します。

き ぎょう と う れん けい た ぶん か きょうせい り かい ち い き こう りゅう そく しん
● 企業等と連携した多文化共生への理解、地域との交流促進

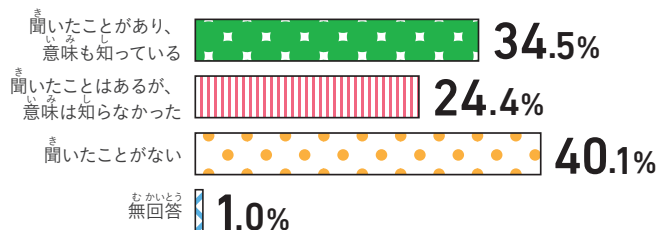
外国人を雇用している企業と連携し、従業員への多文化理解を推進するとともに、外国人従業員への地域活動・交流事業への参加・声かけを依頼することで、地域との交流を促進します。

た ぶん か きょうせい こと ば にん ち と
「多文化共生」という言葉の認知度

た ぶん か きょうせい い み り かい
多文化共生の意味を理解している

に ほん じん し じん にん ひ と り て い ど
日本人市民が3人に1人程度

に ほん じん し じん た ぶん か きょうせい
日本人市民において多文化共生への意識を高めていくことが必要です。



概要版 がいようぼん かんたん!10ページで説明します。

日本語 (ルビあり)

多様性を豊かさにみんなで創るにしおの未来



Português

Da diversidade à prosperidade, unidos criar o futuro de Nishio



Tiếng Việt

Cùng nhau xây dựng tương lai Nishio phong phú đa dạng



Tagalog

Makabuo ng maayos na samahan at pagkakaisa ng pagkakaiba para sa kinabukasan ng Nishio



Bahasa Indonesia

Dalam keberagaman menciptakan kemakmuran bersama untuk masa depan Nishio



中文

变多样性为丰富性 共同创造西尾的未来



English

Building together the future of Nishio with a rich diversity



本編 ほんべん くわしく!50ページで説明します。

日本語 (ルビあり)

多様性を豊かさにみんなで創るにしおの未来



へんしゅう はっこう
編集・発行

にしおしし しみんぶ ちいき か
西尾市市民部地域つながり課
Nishio-shi Shimin-bu Chiikitsunagari-ka

〒445-8501 あいち けん にしおし よりずみ ちよ だ ばん ち
Aichi-ken Nishio-shi Yorizumi-cho Shimoda 22-banchi

TEL: 0563-65-2178 FAX: 0563-56-2175

E-mail: kouryu@city.nishio.lg.jp

はっ こう ねん げつ ねん がつ
発行年月: 2022年3月

